



「国民皆保険制度」って

ご存知ですか？

千葉県医師会理事

川越一男 医師



昨年、国民皆保険制度が50周年を迎えました。国民皆保険制度とは、「誰でも」「いつでも」「どこでも」同じレベルの医療が受けられる制度です。そのためには原則的には18歳以上の国民は医療保険料を毎月徴収されています。サラリーマンは社会保険、自営業者等は国民健康保険に加入し保険料を支払い、病気になったとき病院（診療所）の窓口で（年齢などによって違う場合もありますが）原則3割の医療費を支払います。残りの7割は、国民が支払った保険料の中から支払われています。つまり、10万円の医療を受けても3万円だけ支払えばいい制度です。この制度のおかげで、日本の平均寿命は世界に誇れるものとなり、国民の誰もが高度な医療を受けられるようになっていきます。ところが最近、国民健康保険料の納付率が60%を割り込んでいます。年金制度が維持できなくなることはニュースでも話題になっていますが、このままでは皆保険制度も崩壊しかねません。高齢化のスピードが増す一方で、保険料を納める若い人たちは、景気の低迷や就職率の低下など、社会情勢の悪化に伴って、保険料の支払いがかなりの負担になっています。このままでは、皆保険制度は無くなり、高額な医療費を自分で全額支払うことになってしまいます。そうならないためには、どうしたらいいでしょうか？

国がしっかりとした社会保障制度を確立すること、景気を回復させることが望まれます。医療費は毎年1兆円ずつ自然に増えています。しかし、医師の収入が増えている訳ではありません。高齢者が増えていること、高額な医療機器、先進技術などを導入するために、コストそのものが上がっているからです。

現在、千葉県医師会は国民皆保険制度を守るために、関係機関に積極的に働きかけを行っており、これからも県民の皆さんのために活動を行っていきます。

目次

記念特集

挑み続ける現場から命の重さのメッセージ
登山家（アルピニスト）野口健さん 1

特集

どう予防？ どう診断？ どう治療？
糖尿病を正しく知ろう！ 5

スポーツコーナー

スポーツ医と運動指導士 9

元気からだ! Q & A

突然の食物アレルギーってあるの？
妊娠中の食事とこどものアレルギー 10

情報ファクトリー

とっさの時の応急処置
緊急時知識編（内科） 12

こころの健康

ルールが守れない子ども No.3 15

千葉県インフォメーション

千葉県がん診療連携協力病院の
新規指定について 16

こども相談室

風疹 18

旬食野菜クッキング

キャベツ 19

医師会インフォメーション

間違い探しクイズ 他 20